

月刊

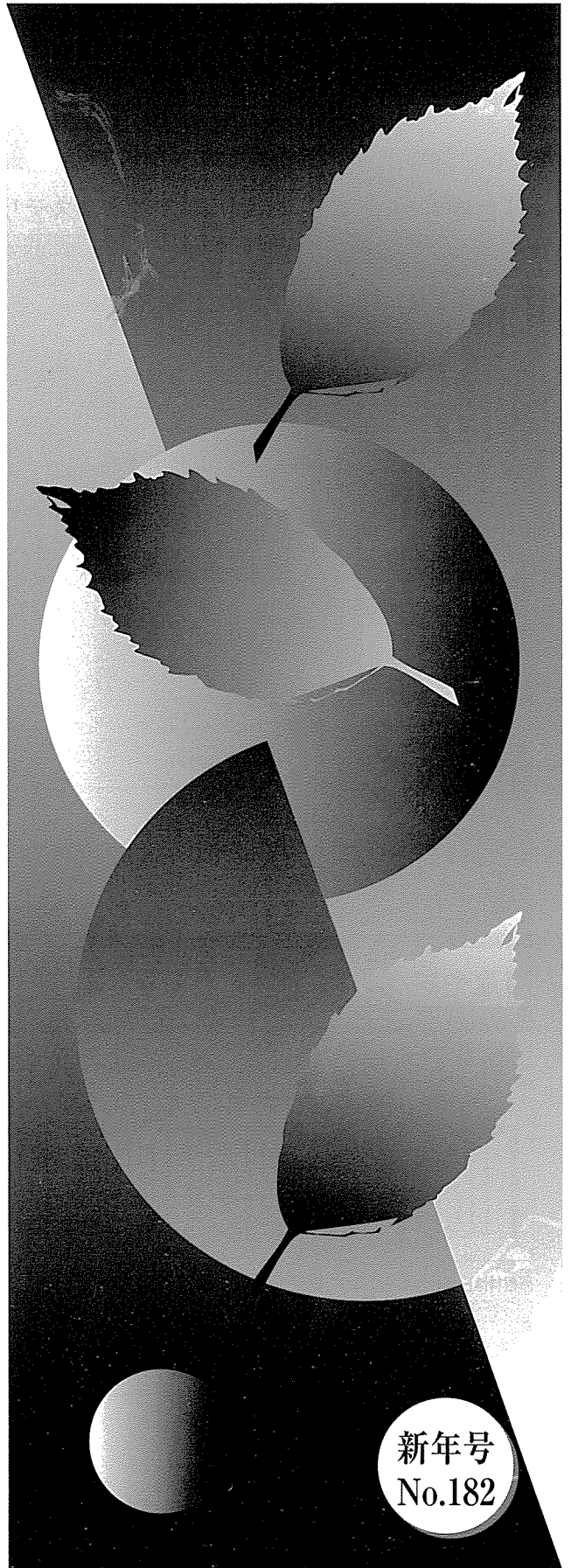
建材

ナビ

特集

人工木デッキ+ガーデンスペースを
基本スタイルに育成される空間
エクステリア／囲い商品を中心に
高機能・多様化をすすめる
ウオールエクステリア

二〇一四年 年頭所感



新年号
No.182

ミルト出版会
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87
ト-1-407号
☎042-484-4507
FAX 042-484-4509
発行人 堤 祥行
年間購読料 30,000円(送料・税込)

建材 navi 新年号 -No.182 目次

特集 人工木デッキ+ガーデンルームを基本スタイルに育成される空間エクステリア/囲い商品を中心に高機能・多様化をすすめるウォールエクステリア **10**

[年頭所感] **3**

[環境・健康建材コーナー] **8**

[新製品・新技術情報/業界の動き] **18**

© Miruto Shuppankai Ltd.2014 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください
キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成26年(2014年) 号(月号)より1年間購読します。

(年間購読料/送料・税込30,000円)

貴社名		部署		ご芳名		印
送付先				☎		
				FAX		

年頭所感 2014年 あけましておめでとうございます (五十音順)

小松電機産業

「クラウド」の先駆けRubyで構築された「やくも水神」、シートシャッター happy gate 門番システム
——小松昭夫代表取締役/
(財)人間自然科学研究所理事長

本年は甲午、天馬空を往く激動の年。文化習慣、社会構造、言葉文字を根源的に考察、出雲で生まれた「和譲」と、中国の「和諧」、韓国の「和諍」、朝鮮の「主体思想」、米国の「スマートパワー」、露国の「芸術」を共鳴させ、対立・統合・発展が繰り返される「和の文化」を生み出せる時を迎えました。

21世紀は「水の世紀」、水の情報平和の源。

東西冷戦が続く、三大核大国の米国、中国、露国の結節点、朝鮮半島の対岸に位置し、日本の発祥地ともいわれる「八雲立つ出雲」から、電波の雲「クラウド」の先駆けとなった、Rubyで構築された総合水管理システム「やくも水神」、シートシャッター happy gate 門番システムに、人間自然科学研究所の四半世紀の活動をあわせ、平和のプラットフォーム構築の一翼をになうプロジェクト(ホームページ参照)を立ち上げます。

東西冷戦が続く、三大核大国の米国、中国、露国の結節点、朝鮮半島の対岸に位置し、日本の発祥地ともいわれる「八雲立つ出雲」から、電波の雲「クラウド」の先駆けとなった、Rubyで構築された総合水管理システム「やくも水神」、シートシャッター happy gate 門番システムに、人間自然科学研究所の四半世紀の活動をあわせ、平和のプラットフォーム構築の一翼をになうプロジェクト(ホームページ参照)を立ち上げます。

三協立山(株)三協アルミ社

「VISION2020」達成に向けて、重点施策である「改装・リフォーム事業」を強化——蒲原彰三社長

三協アルミでは、復興需要や東京オリンピック関連需要へ

の対応に注力するとともに「VISION2020」の達成に不可欠となる、国内ストック市場の獲得強化にむけて、重点施策に掲げる「改装・リフォーム事業の強化」に引き続き取り組んでまいります。

ビル建材事業では改装や環境分野をターゲットとするSTER事業部を中心に幅広い分野における省エネ、環境リフォームの提案に注力いたします。商品面においては自然風を利用した自然換気商品など環境商品の採用拡大に取り組んでまいります。

住宅建材事業では、採風をコンセプトとした窓や玄関など、住まいに自然の風を採り入れることで省エネにも貢献できる環境商品群の販売拡大に取り組みます。加えてリフォームネットワーク“一新助家”加入店のレベルアップを通じてお客様に満足いただけるサービス・商品の提供に努めてまいります。

エクステリア建材事業においては、外部視点を取り入れた「SACLAB」プロジェクトの成果となる新デザインフェンスの市場投入と併せて、庭周りのリフォームに対応したガーデンルームの提案を強化いたします。加えて流通店様へのフォローアップ強化を継続してまいります。

「海外展開」に関しては、中長期的な成長を目指せるアジア市場でのボリューム確保に向けて、拠点とする台湾およびフィリピンでの事業展開強化に取り組んでまいります。



蒲原彰三社長

「三協立山株式会社」の中核事業を担う当社にとって実りのある年となるよう、「お客様・地域社会・社員」の協業・共栄の精神のもと、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を進めてまいります。

三和ホールディングス

「動く建材」のグローバルメジャーとして世界中に商品とサービス提供——高山俊隆会長兼社長

当社グループは、今年度より新しい長期経営ビジョン「三和グローバルビジョン2020」、「『動く建材』」のグローバル・メジャーとして、世界中のお客様に安全・安心・快適な商品とサービスを提供することを目標に掲げ、「第一次3ヵ年計画」をスタートさせました。

国内においては、受注拡大および更なる多品種化の推進と、集中豪雨や台風時における止水対策商品であるステンレス建具一体型止水シート「STウォータプロテクト」、手動式防火シャッター用危害防止装置「メカセーフ」など社会やお客様のニーズに迅速にこたえる商品開発に取り組ましました。米国においては、新築市場向け商品の販売と開閉機事業の強化に努めました。また、施工やメンテナンス等サービス事業の強化にも取り組んでおり、昨年5月に自動ドア販売会社テキサスアクセスコントロールズ社を買収しました。欧州では、構造改革のさらなる推進によるコストダウンに努めました。また、アジアでは、中



高山俊隆会長兼社長

国を中心に景気の減速が懸念されますが、今後のグループ成長の鍵となるアジア事業の基盤整備と拡充に引き続き注力してまいります。第一次3ヵ年計画の2年目であり“午年”の本年、しっかりと手綱を握り締め、三和グループのさらなる高みへ向って駆け上がってまいります。

三和シャッター工業

間仕切・環境建材・フロント3商品をトップレベルの基幹商品に成長させる——木下和彦社長

現在、第一次3ヵ年計画において「さらなる飛躍の実現に向け、常に進化し続ける成長基盤を確立する3ヵ年」を経営方針に掲げ、基本戦略である多品種化の完全定着を目指し、成長商品と位置づけた間仕切・環境建材・フロントの3商品を業界トップレベルの基幹商品に成長させるため、マーケット、商品、用途を細分化して品揃えする“細分化戦略”を展開しています。

特にスチール間仕切の自動化ライン設置をはじめとする積極的な生産設備への投資や、業界初の新機構で玄関ドアの開けにくさを軽減する差圧解消・通風機能付きマンションドア「トレドールエコア」、スーパーマーケットのバックヤード向けの提案商品である高速シートシャッター「クイックセーバーN12」の市場投入など環境へ配慮しつつお客様の視点に立った「ものづくり」にこだわってまいりました。

本年は、業界トップレベルの

製造技術力・商品開発力・工務力を確立し、お客様との密接な関わりを大切にす地域No.1の販工店を目指すとともに、三和グループ全体の牽引役としての責任を果たしてまいります。

四国化成工業

中期経営計画「SSS over the 500」で、売上高500億円・営業利益50億円——田中直人取締役専務

今年、消費者マインドに改善の兆しが見え始め消費税増税を間近にひかえたなか、前半は一定の駆け込み需要が期待され、その後も住宅ローン減税などの政策により底堅く推移するものと予想されます。

弊社は、平成28年3月期までの中期経営計画「SSS (Shikoku Survival Strategy) over the 500」を策定し、連結売上高500億円、連結営業利益50億円、ROA5%などの数値目標を掲げ、「スピード&ストレッチ」を行動指針にグループを挙げて諸施策を着実に実践していく所存です。

建材事業においては、独創的な発想と真摯なモノづくりを指向するメーカーとして、長期的な視点で事業領域を広げるため日々研鑽を重ねてまいります。

建材の市場構造は、住まいの高耐久化の進展により新築からリフォームに移りつつありますが、エクステリア市場においても、住まいを核とした総合的な提案が進むことで商品決定のプロセスが多様化し、提案力の真価が問われる変革期を迎えています。

弊社は、長年に亘り培ってきた代理店様との信頼関係に基づき互いが協調し、これまでも増して高度な提案をすすめるとともに、安全・安心な施工技術の普及に努めつつ常にチャレンジする精神を貫き、引き続き微力ながら業界の発展に尽力していく所存です。

寺岡オートドア

流出する空調エネルギー抑制には自動ドアの合理的開閉が適合しており有効だ——吉田毅社長

2013年は弊社にとって区切りの年となりました。1月に創立50周年記念式典を開催、8月には役員改選を行い、

40年以上にわたって社長を務めた先代の吉田敬より代表取締役社長を引き継ぎました。浅学菲才の私が重責を全うできるか、甚だ心もとないところではあります。が、万物不易の原則は会社組織も同様です。社員、幹部と同様、経営者も新陳代謝していくことが自然の流れだとすれば、与えられた職責として、経営環境の変化に対応した新しい体制作り邁進したいと考えております。11月に執行役員制を導入したことも、その一つです。

「開いて閉まるだけ」の自動ドアにも長年の経験とノウハウが詰め込まれています。近年、「安全・安心・快適」という時代のキーワードに沿った製品が求められ、通行者の安全性を高めた自動ドア、防犯性に優れた自動ドア、防災性能の高い自動ドアが供給されてい

ます。弊社でも、省エネ課題に対しては、製品の消費電力を低く抑えるべく改良を重ねてまいりました。

さらに製品単体だけでなく、自動ドアシステム全体で解決していく方向性も打ち出していくべき課題ととらえております。バリアフリー、あるいはユニバーサルデザインというテーマにも積極的に取り組んでいきたいと考えています。トイレ用自動ドアシステムに関しては、これまでも製品供給してまいりましたが、利用者目線での改良・開発を進めてまいりたいと思っております。

ナブテスコ(株)環境カンパニー

2020年東京オリンピックに向けて東京の「バリアフリー化」に貢献すべく努力——三代洋右社長

2020年の東京オリンピック・パラリンピックが示すものは何でしょうか？

それは、世界に先駆けて成熟社会を迎えた日本が、如何に老若男女が協力し、活力と生き甲斐をもたらすことができるか、の社会像かも知れません。高齢者、障害のある方々に配慮した、すべての面でのバリアフリーの街づくり、そうした新たな都市モデルの中でのオリンピック開催を世界に示す絶好のチャンスにもなるものと思っております。

今年の経済ですが、グローバルにも、国内経済も、懸念材料が複数見られますが、いずれも致命的とはならず、そこそこ満足できるものとなるのではないで

しょうか。自動ドア事業に関しても、東北の復興事業、東京オリンピックに向けてのインフラ投資等もあり、明るい年になるのではないのでしょうか。私たちナブテスコグループ<ナブテスコ(株)・ナブシステム(株)・ナブコドア(株)・オリエント産業(株)>は、引き続きお客様視点、市場視点で「自動ドアにいま、何が求められているのか」、「未来の人と社会にふさわしい自動ドアとはどのようなものなのか」を常に考え、エコロジーとバリアフリーをキーワードに、未来の“だれでもドア”をつくっていくことを使命として取り組んでまいります。また、2020年の東京オリンピックに向けて、ナブテスコグループは東京の「バリアフリー化」に貢献すべく、努力いたす所存です。

不二サッシ

次期中期経営計画「PROGRESS・躍進」への進化の年——土屋英久社長

当社グループは2011年度を初年度とする「次期中期経営3ヵ年計画」を策定し、持続的成長を目指しています。本年度はその最終年度になり、当初目標を概ね達成できる見通しとなっています。

昨年11月28日に発表した次期中期経営計画「PROGRESS・躍進」step 2に触れます。2020年の創立90周年をめざした長期ビジョンを念頭に、3年単位の中期計画に分割して段階的にすすめることとし、「100周年への

礎」を築くための取り組みを行なっています。現在実行中の中計step 1「CHANGE・改革」を踏まえ、2014年度から2016年度のstep 2・第2次中期経営計画は「PROGRESS・躍進」をメインメッセージにスタートします。「CHALLENGE for CHANGE」をスローガンに、「事業構造改革」への変革を継続しつつ、市場・商品技術・人材育成といった、あらゆる面で積極的に挑戦し、次代に向けて持続的発展のための基礎作りに取り組みます。

そして、2017年度から2020年度のstep 3・第3次中期経営計画「CREATE・創造」へ繋げてまいります。

2014年は当社グループにとって、第一次中期経営計画を完遂し、次期中期経営計画「PROGRESS・躍進」への進化の年と考えています。今年の午年はまさに勢いのつく年です。馬ならでは「勢いよく突き進む力」PROGRESS・躍進へ向けた馬力みなぎる1年に不二サッシグループ一丸となって目標を達成し、実りある年にしていきたいと考えています。

文化シャッター

多彩なものづくりとサービスを通じて社会発展に貢献し、人々の幸せを実現——茂木哲哉社長

当BXグループは長期ビジョンに「お客様に安心・安全を提供する『快適環境のソリューショングループ』をめざして」を掲げ、「企業確信の



木下和彦社長



田中直人取締役専務



吉田毅社長



三代洋右社長



土屋英久社長



茂木哲哉社長

実現」を基本テーマとした第三次中期経営計画を昨年4月スタートさせました。BXグループの使命は、多彩なものづくりとサービスを通じて社会の発展に貢献し、様々な人々の幸せを実現することです。

そのために、「安心・安全」をコンセプトとした高機能タイプの商品開発とその拡販を進めると共に、今後の社会の方向性を示すキーワードを「エコ」と「防災」と捉え、地球規模での環境変化や社会環境の変化に対応するべく、新たな事業領域を切り開く取り組みを推し進めております。

「エコ」分野の“太陽光発電システム事業”では、対象エリアを首都圏から東北、中部、関西、九州に拡大し、事業の拡充を進めております。「防災」分野では、一昨年、止水事業に参入し、「簡単かつスピード設置」を切り口としたソリューションを提供する取り組みに注力しております。今後、生活者視線で考えた様々な“浸水防止用設備”のバリエーション拡充を図っていきたくと考えております。海外展開は、BX BUNKA VIETNAM と、BX BUNKA TAIWAN を中心に「アジアを内需」と捉え、アジアと共に成長することを前提に、東南アジアのさらなる発展に貢献したいと考えております。

本年も、新たな事業やものづくりに加え、ものづくりを進化させた価値創造としての「ことづくり」を基本に、様々な社会的課題の解決に取り組み、お客様の幸せを実現することをめざして参ります。

LIXIL

日本文化と海外文化を融合させ、グローバルな「One LIXIL」としての新しい価値観を創りあげる

—藤森義明社長兼CEO

昨年は、住生活産業のグローバルリーダーとなるための成長体制を確立する、力強い一歩を踏み出した



藤森義明社長兼CEO

年でした。海外事業においては、北米の「アメリカンスタンダードブランド」を子会社化し、さらにドイツの高級水栓金具メーカー「グローエ」との買収交渉が実を結び、アジア・北米・欧州という三大地域でのプラットフォームを確立しました。これにより、海外売上1兆円達成への基盤が整いました。国内は、住宅市場も堅調で、当社グループでは統合の成果によるコスト削減も加え、半期決算で過去最高益を計上することができました。

2014年は、さらに成長を加速させ、飛躍する年としていきます。海外においては、新たにグループ入りした企業とのインテグレーションを進め、グループ全体のシナジーを発揮していきます。国内で培った商品性能や生産技術を活かし、グローバルで通用する商品を開発していくほか、各社のサプライチェーンをフル活用し、最適化します。同時に、日本文化と海外文化を真に融合させ、グローバルな「One LIXIL」としての新しい価値観を創りあげていきます。

日本の経済は引き続き堅調に推移することが予測されます。住生活産業においては住宅・建築物の省エネや耐震化、高齢化社会への対応などの新たなニーズによって、リフォーム需要も拡大します。当社グループは、新しい市場を創造すべく、サッシ、外壁・タイル、エクステリアから、トイレ・バスルーム・キッチン、内装建材まで、幅広い分野でイノベティブな商品を開発し、トータルコーディネートでご満足いただけるご提案をすることで、業界をリードしていきます。

これらを推進していくために、誰もがリーダーシップを発揮できる企業文化の醸成を精力的に進めていきます。人材を育成し、実力主義を徹底した適切な登用を進め、ダイバーシティーを実現することで、力強い企業体質を作りあげます。

YKK AP

全国1000店舗を超える「MADOショップ」で窓から始めるリフォーム提案強化

—堀秀充社長

2013年度のYKK APグループの業績は、国内、海外ともに堅調に推移し、売上高は対前年比14%増の3950億円、営業利益は34%増の250億円となる見込みです。

2013年度より第4次中期経営計画をスタートしました。「商品力・提案力によるAP事業の持続的成長」を中期事業方針とし、重点施策に取り組んでおります。



堀秀充社長

「窓事業の拡大」では、昨年6～9月にかけて全国13都市でAPWフォーラム・窓フォーラムを開催し、約2600社の住宅業界関係者の皆様に建築において窓の果たす役割、重要性をお伝えしました。樹脂窓「APW330」などの高断熱窓の普及啓蒙を推し進め、大きな成果をあげています。

「リフォーム分野の強化」では、2010年4月にスタートした「MADOショップ」の「ネットワークを軸として多様なニーズへの対応に取り組んでおります。「ビル事業の強化」では、「スマートドア」をビル用にも拡大しました。また、業界初となるビル用エコ内窓「Biew（ビュー）」を発売し、オフィスビルや集合住宅の省エネ性能を高める提案活動に注力しています。「海外AP事業の拡大」では、商品技術力をベースに各国・各地域の気候・風土に合わせた商品開発により、着実に拡大しています。

2014年度は、4月1日からの消費税増税の影響による消費の冷え込みが予想されます。また、少子高齢化等により、新築市場も減少傾向と予測されます。このような環境下で当社は「持続的成長」を基本方針に掲げ、新築だけでなくリフォーム分野の強化も図ってまいります。全国に1000店舗を超える「MADOショップ」では、地域の生活者視点で、窓から始めるリフォームの提案を強化します。また、13年目を迎えるTOTO・DAIKEN・YKKAP3社によるTDY連携もさらに強化してまいります。

また、エクステリア事業については、デザイン・機能を重視した商品を拡充するとともに、開口部

商品との組み合わせによる「小エネ（ローエネ）な暮らし」を実現する提案活動を一層強化してまいります。

窓事業においては、東北事業所窓工場（宮城県大崎市）並びに、六甲窓工場（兵庫県神戸市）が本年稼働いたします。埼玉窓工場で確立したビジネスモデルをこれらの新工場へも展開し、最適な製造・供給拠点体制を構築いたします。

海外AP事業は、各国・各地域に根差した事業活動を展開するとともに、米国、中国などにおいては進出エリアを拡大することで、海外AP事業の基盤をより一層強固なものにいたします。

日本シャッター・ドア協会

ゲリラ豪雨等防災事業の一環として浸水防止用設備に関する検討を開始する

新しい年を迎えましたが、本年も引き続き増大するストック市場におけるシャッター・ドアの安全性の確保について、積極的に取り組んでまいります。

とくに保守点検については、防火シャッター・ドアに加えて、日常的に開閉使用される管理用シャッターについても、安全装置（障害物感知装置）の普及を含め、定期点検制度の促進に力を注いでまいります。

また、近年、異常気象によるゲリラ豪雨が増加しておりますが、協会としては防災事業の一環として浸水防止用設備に関する



岩部金吾会長

検討を開始することいたしました。会員各社においても各種の浸水防止用設備を手掛け始めており、国土交通省では平成26年度税制改正の中で、浸水想定区域内の地下街等に浸水防止装置を設置する場合は、固定資産税を軽減する特例措置を講ずることとするなど、この対策への取り組みが積極的になっていきます。

全国エクステリア工業会

ガーデンリフォーム需要の喚起など着工に左右されない市場づくりを志向する

平成25年度上期の住宅エクステリア市場の動向は、当工業会出荷実績で924億円と2%

増に留まり、エクステリア需要のベースとなる一戸建て新築着工の6か月前実績8.5%増に至らず低成長となりました。それらの要因は、①人手不足によるエクステリア工事の遅れ、②人口密集地での住宅の狭小地化、③職人層の高齢化などがあげられます。また、一般施主様へ向けてのエクステリアの魅力が伝えきれていない等の努力不足も否定できません。

当工業会は業界の抱える諸問題について対策を検討してまいります。特に新築需要からリフォーム需要獲得へのシフトについては、4500万戸といわれる戸建てストック住宅に対する、アフターセット商品を中心としたガーデンリフォーム需要の喚起など、着工に左右されない市場づくりを志向してまいります。

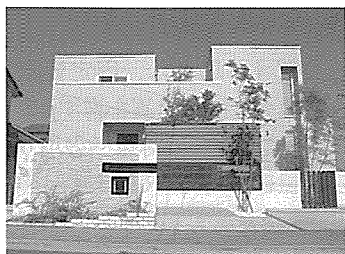


長廻悟会長

【環境・健康建材コーナー】

LIXIL

「エクステリアコンテスト2013」、応募総数7129作品から「大賞」に門まわり・車庫まわり部門金賞作品「三木建材(株)」(香川県)を選出



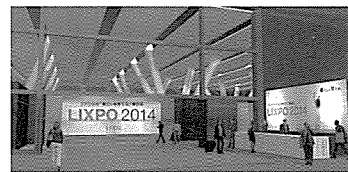
LIXIL(藤森義明社長)は、「LIXILエクステリアコンテスト2013」で、応募総数7129作品の中から、「大賞」に門まわり・車庫まわり部門金賞作品の「三木建材(株)」(香川県、採用商品:スクリーン、デザインパーツ)、また「ニコニコ大賞」にエクステリアと家族の幸せ部門の「(株)ひまわりライフ」(兵庫県)を選出した。さらに、門まわり・車庫まわり、自然浴エクステリア、パブリック空間、エクステリアリフォーム、エクステリアと家族の幸せの各部門の入賞337作品を決定した。

「大賞」作品について審査員の古橋宜昌氏は、「メインアプローチの動線をクランク状に設定し、道路に対して横向きに入る門構えはとても品がよく奥行き感もあります。正面中央のリビングの開口を目隠しスクリーンでプライバシーを確保しながら風通しを確保している点も素晴らしい。重厚感のある建物の外観とエクステリアの要素がバランスよく組み合わせられていて適度に配植された高木が構造物の硬さを和らげています」とコメント。

金賞・銀賞受賞店は次の通り。
◆門まわり・車庫まわり部門:◇

銀賞——「(有)緑心造園」(茨城県) / 「(株)ひまわりライフ」(山口県) / 「(株)橘」(徳島県) / 「エクステリア&ガーデンcasa」(愛媛県) / 「カエデスタイル(株)」(福岡県)。◆自然浴エクステリア部門:◇金賞——「ザ・ガーデン宮崎大淀店」(宮崎県)。◇銀賞——「イマジンガーデン(山下造園土木(株))」(大阪府) / 「(株)稲田香樹園」(大阪府) / 「(株)タケウチ」(熊本県)。◆パブリック空間部門:◇金賞——「(株)石勝エクステリア」(神奈川県)。◇銀賞——「(株)エス・アイ・エム」(東京都)。◆エクステリアリフォーム部門:◇金賞——「(有)福岡庭園サービス」(鹿児島県)。◇銀賞——「カエデスタイル(株)」(福岡県) / 「(株)ガーデンデザインベリー」(千葉県) / 「エクステリアマート」(千葉県)。

プロユーザー対象の展示会「LIXPO 2014」全国4会場で開催決定



LIXILは、1月21日の東京会場(東京国際フォーラム)を皮切りに全国4会場で、プロユーザーを対象にした、『リクシルの“クラシを育てる。”展示会「LIXPO(リクシポ)2014」』を開催する。

テーマ展示は、「パッシブファースト」「ユニバーサルデザインリフォーム」「家事・子育てサポート

「防火戸シリーズ」「トレンドコーディネート」「サービス付き高齢者向け住宅」「ショップリフォーム」「マンションリフォーム」「ビル環境複合化技術」の9つ。

開催日/場所——◇1月21日・22日/東京国際フォーラム(東京都千代田区)。◇3月5日・6日/ポートメッセ名古屋(名古屋市)。◇3月12日・13日/インテックス大阪(大阪市)。◇5月14日・15日/夢メッセみやぎ(仙台市)。

“ちょっとしたお湯の利用”に最適な小型電気温水器「ゆプラス飲料用・洗い物用タイプ」を新発売

LIXILは、福祉施設や病院、オフィスなどのキッチンに最適な小型電気温水器「ゆプラス飲料用・洗い物用タイプ(12L/25L)」を2月3日発売する。

これは“ちょっとしたお湯の利用”にこたえる小型温水器で、ミニキッチンの奥行420mmに収まるようにコンパクト化したもの。

また、安心機能では給湯温度を適温の38℃に設定しているほか、飲用に適した水質を保つように「自動給排水機能」を搭載した。エコ機能として、自動で保温温度を調節する「スーパー節電機能」も搭載した。

マンションの改修用に最適な換気口消音ボックス「クレール75」発売

LIXILは、既存マンションにおいて75mm径の換気口に対応し、高遮音性と自然換気を両

立させた換気口消音ボックス「クレール75」を新発売した。

これは新築マンション向けの「クレール100/150」につづくもので、改修用として要望のおおい75mm径に対応したものだ。

三協アルミ

地面とフラットな状態に収納する車止め「ビポールBPシリーズ」上下式バリアフリー仕様」発売



三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は、車止め「ビポールBPシリーズ」の「上下式バリアフリー仕様」を新発売した。

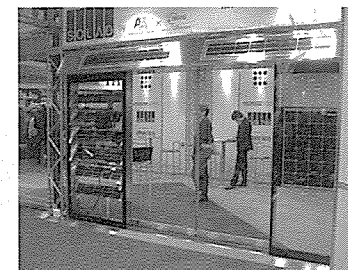
従来品はポールを地中に収納した際に10mmの段差が生じていたが、新商品は地面とフラットな状態に収納できるように改良された。通行時のつまづきや除雪作業時の引っ掛かり防止に配慮したバリアフリー仕様。チェーン通過型とチェーン内蔵型の2種類。サイズは、直径48.6、60.5、76.3mm×高さ690mm。

「ビポールBPシリーズ」は、このほかに取り外し式と固定式を品揃えする。ステンレス製鏡面仕上げで、上下式、取り外し式に交換ポールを用意。同時に、いたずら防止のためのプレートキーを備えている。

チェーン通過型・上下バリアフリー仕様・サイズ直径48.6×高さ690mmの参考価格は1万4900円〜。

寺岡ファシリティーズ

太陽光発電・充電システムを組み込んだ自動ドア「SOLD(ソラド)」新開発、電気のみで運転する究極の省エネルギー自動ドア、6月から発売開始



×2枚の引分けタイプ、1分間に4回の開閉に対応。

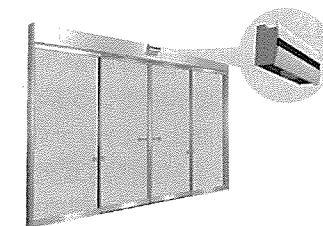
新開発のレーザーセンサーを採用しミリ単位の開閉制御が可能な次世代自動ドア「e-セービングドア」を4月発売

必要な時に必要なだけ開く自動ドア「e-SAVING DOOR(e-セービングドア)」は、ミリ単位の検出が可能な新開発のレーザーセンサーと専用自動ドアコントローラーを組み合わせて、高度な開閉制御を可能にした次世代自動ドアシステム。4月から発売を開始する。

寺岡ファシリティーズ(古野重幸社長)は、太陽光発電自動ドア「SOLAD(ソラド)」を新開発、6月発売を開始する。

「ソラド」は、NEDO助成事業として開発を進めていた、太陽光発電・充電システムを組み込んだ自動ドア。

エントランスの左右FIX部に設置された太陽光パネルで発電し、専用バッテリーに電気をためて、その電気のみで自動ドアを運転する究極の省エネルギー自動ドアシステム(蓄電量が足りなくなった場合、深夜電力で充電する)。



新開発「レーザーセンサー」は、①人の動きからドアに向かう向わないを判断し、横切った場合は開閉せず、ムダ開きをキャンセルする。②人数や通り方によって扉の開き幅を可変させることで、扉の開閉幅を狭め、開放時間を短くする。③床面から高さ方向に検知をキャンセルできるから枯葉やゴミ等による誤動作を大幅に減少させる——などの機能をもつ。これらの複合的な機能により、汎用自動ドアに比べて大幅な動作消費電力と空調コストの削減を実現する。

人工木デッキ+ガーデンルームを基本スタイルに 育成される空間エクステリア/囲い商品を中心に 高機能・多様化をすすめるウォールエクステリア

住宅用エクステリア市場では、ガーデン分野とウォール分野のどちらも成熟期に入ったことを受けて、新たなエクステリア需要の掘り起しが業界共通のテーマになっている。

2012年度販売実績をみると、門扉・フェンス約810億円、カーポート約415億円、ガーデン分野合計1225億円。他方、テラス・テラス囲い約327億円、ユニット式バルコニー・ベランダ手すり約288億円、風除室31億円、オーニング約27億円のウォール分野合計約673億円。デッキ材+空間形成商品の空間EX分野約212億円。EXトータル2110億円の2000億円市場を形成している。

ガーデン分野は、住宅エクステリアの約6割を占めているとはいえ、門扉の取付率の低下に直面している。またウォール分野では、ユニット式バルコニーの減少に悩みを抱えている。

これまでのエクステリア市場を牽引してきた大型商品が成熟期を迎えて、第3の商品分野の育成が課題として横たわる。その中でも、アウトドアリビングの空間形成商品分野が、今後の成長分野であるとの共通認識が出来つつある。

いわゆる空間エクステリア分野は、LIXILのTOEXブランドが自然浴エクステリア・エクシオールをパイオニア商品として展開してきた。これを追って各社ともアウトドアリビング向けのオリジナル商品を開発、投入してきた。

そうした商品群の中でも、人工木デッキ+フルオープン・フルクローズスタイルのガーデンルームが、スタンダード商品のポジションを確立しつつあるようだ。すでに昨年春の新商品発表を契機に、大手各社がオープン・フルクローズスタイルのガーデンルームの発売に乗りだしてきた。

ガーデンルームは、フレームとパネル、デッキ材など組み合わせて、自由なアウトリビング空間を創出できる。テラスタイプやパトリスタイプなど、いくつかのバリエーションがある。今後、ガーデンルームの展開では、限られた敷地を有効利用するうえで、優先商品はカーポートかガーデンルームか第3のアイテムかとの課題をクリアすることも必要にな

る。いづれにしてもリビング感覚の外部空間を取り入れたライフスタイルを実現できるアイテムであるとの認知度を、どこまで業界をあげて高められるか注目される。

2012年度デッキ材+空間創造商品 市場約212億円と増加、フルオープン・フルクローズ機能を備えた ガーデンルームを主力に新市場育成

—デッキ材と空間創造型商品群—

空間創造型商品は、LIXILのガーデンルーム商品群であるガーデンラウンジ「cocoma」、エクシオール「NEW 暖蘭物語」、自然浴家族「zima」に代表される。もともとフルオープン・フルクローズ機能をセールスポイントにした新たな自然浴エクステリア商品として開発されたもので、ガーデン、ウォールにつづく新分野として育成されてきた。

LIXILにつづき、各社ともアウトドアリビング商品への関心の高まりに応じて、庭まわり・囲い商品の開発に取り組んできた。ここにきて各社ともガーデンルームの開発・発売に力を注ぎ、三協立山のガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、四国化成工業のガーデンルーム「F.リード憩」、YKKAPの「アウトターーフ・ガーデンルームタイプ」などの新商品が投入されている。

これまでにも、三協立山の「M.グロリア」「M.フレンジ」、四国化成工業の「グランパトリス」、YKKAPの「リレーリア」などの空間形成商品が発売されていたが、各社のガーデンルームは折戸パネルによるフルオープン・フルクローズ機構を備えている点が共通している。このタイプのガーデンルームと人工木デッキ材を主力商品に、空間エクステリア市場の本格的な育成に乗りだしたといえそうだ。

デッキ材市場には、三協立山、四国化成工業、LIXIL、YKKAPの大手メーカーをはじめ、文化シヤッター、越井木材工業、タカショー、ユアサ建材工業、中村製作所などのエクステリア企業が参入する。

デッキは住宅の内外空間を一体化するアイテムとして普及してきたが、当初はウエスタンレッドシダーなどの輸入材を使った「木製デッキ材」を主力商品に採用がすすめられた。ここにきて「木製デッキ材」から木粉50%以上と樹脂を使用した「人工木デッキ材」への転換が顕著になってきた。

YKKAPが再生木「リウッドデッキ200」で先行した。LIXILが人工木デッキ「樹ら楽ステージ」に商品を統合したほか、三協立山も人工木デッキ「ひとと木」に商品を絞り込んだ。さらに、四国化成工業の木質樹脂デッキ「ファンデッキHG」、文化シヤッターの木材・プラスチック再生複合材「テクモク」など、人工木デッキが主流となった。

人工木デッキ材は、価格的に天然木デッキよりも高価であるにもかかわらず浸透する理由には、経年変化にともなう反りやササクレが発生しないこと、定期的なメンテナンス再塗装が必要ないことなどがあげられる。今後、天然木デッキ材はオーダー分野を中心に展開することになりそうだ。

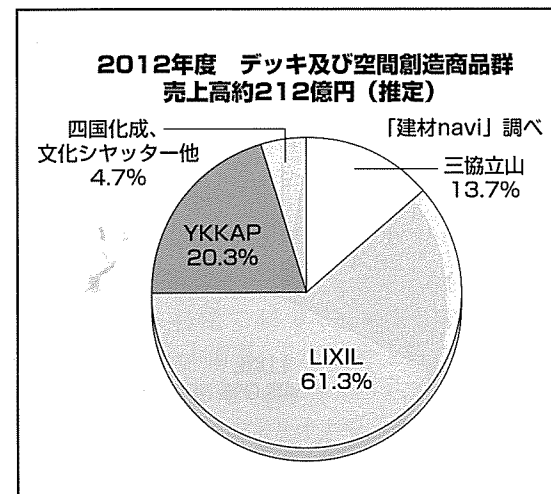
2012年度デッキ材売上高は約140億円と推定される。メーカー別には、LIXILが約70億円、YKKAPが約35億円、三協立山が約26億円市場をリードする。

デッキ材を含む空間創造型商品の2012年度売上高は約212億円と推定される。LIXILが約130億円、YKKAPが約43億円、三協立山が約29億円と推定される。

2012年度売上高テラス・テラス囲い 約327億円、バルコニー・ベランダ 手すり約288億円、風除室約31億円、 オーニング約26億5000万円

—ウォールエクステリア—

門扉・フェンス、カーポートとともに、住宅エクステリアを支えるウォールエクステリアは、バルコニー・テラスを主力商品に市場を形成してきた。シンプル&モダン系住宅スタイルの増加にともないウォールエクステリアも大きく変化しつつある。何よりも造り付けタイプのバルコニーの増加で、ユニット式バルコニーが大きな減少にみまわれた。これにともないウォールエクステリアのリーディング商品が、テラス・テラス囲いに移りつつある。とくに、

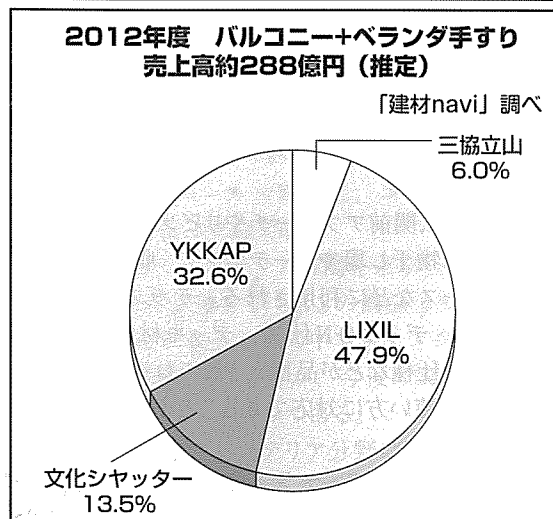
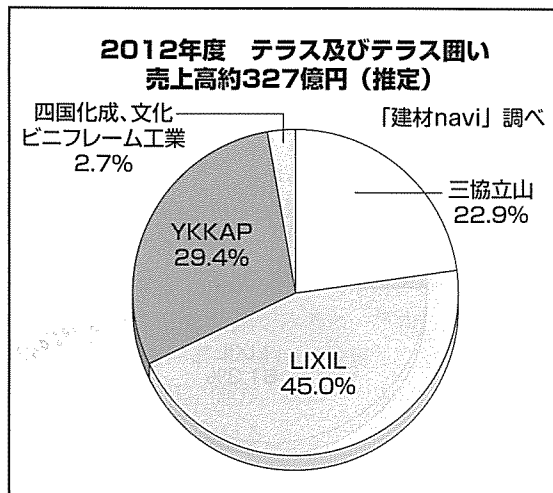


テラス囲いはサンルームの要素を含んでおり、人工木デッキ材と組み合わせることで空間形成商品のひとつの見方もできる。今後ともテラスは汎用性にすぐれたアイテムとして拡大が見込まれている。

テラスは玄関前アプローチやリビングの庭先、テラス囲いは物干し場やガーデニング、収納などの多目的スペースなどに利用される。テラス囲いには、土間仕様、デッキON仕様、デッキ材仕様、躯体バルコニー仕様などが品揃えされており、ユーザーのさまざまな使い方に対応できることがセールスポイント。

2012年度テラス・テラス囲い売上高は約327億円、前年度比3.8%増と拡大。メーカー別には、LIXILが約147億円と横ばい、YKKAPが96億円と4.3%増、三協立山が約75億円と7.1%増。四国化成工業、ビニフレーム工業、文化シヤッターらがつづいている。

ベランダ・バルコニーは、新築住宅における造り付けタイプの拡大にともない、住宅用ベランダ手すりがユニット式バルコニーの販売高を上まわっている。ユニット式バルコニーのタイプ別の販売傾向をみても、新築住宅に対応する柱なしタイプは、YKKAP、LIXILの両社が35~40%を占めるが、他社はせいぜい15%程度にとどまっている。ユニット式バルコニーの主力マーケットは、柱建てタイプ、屋根置きタイプを主力にするリフォーム市場に移っている。柱建てタイプと屋根置きタイプの販売比率



は、ほとんど変わらない。

2012年度ユニット式バルコニー売上高は約92億円と前年度比5.2%減少した。一方、住宅用ベランダ手すりは約196億円(一部集合住宅用含む)と12.0%増加した。バルコニー+ベランダ手すりの合計は約288億円と前年度比約4%増と推定される。

メーカー別には、LIXILがユニット式バルコニー約43億円・手すり約95億円、計138億円と推定される。YKKAPがユニット式バルコニー約34億円・手すり約60億円、計94億円と推定される。文化シャッターがユニット式バルコニー約3億円・手すり約36億円、計39億円と推定される。三協立山がユニット式バルコニー約12億円・手すり約5億円、計17億円と推定される。

そのほかにウォールエクステリア商品として、風除室が約31億円と前年度比19.2%増加。オーニングは約26億5000万円、前年度比11.7%減少。

風除室は、積雪地域や台風通過地域に欠かせない玄関前のアイテムとして採用されている。取り扱いメーカーがLIXIL約13億円、YKKAP約13億円、三協立山約5億円と限られている。

オーニングは、夏場の節電・省エネ対策のエコ商品として住宅分野でも成長が期待されている。最近、節電・省エネ商品として、緑のカーテンに代表される安価な遮熱遮光型商品など多様化がすすめられている。メーカー別には文化シャッター・テンパルが約15億円で業界をリード。住宅分野に限ると、YKKAPが約6億円、LIXILが約4億5000万円で市場をリードしている。

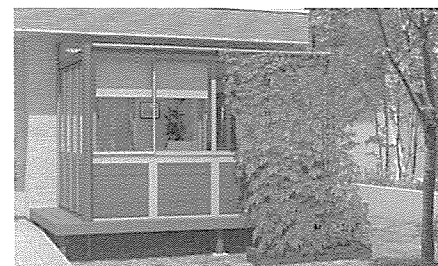
三協立山

ガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、人工木デッキ「ひとと木」軸に快適空間づくり提案

【ウォールエクステリア】□空間創造型商品——◆ガーデンルーム「ハッピーナ」:土間仕様・デッキON仕様に、狭い敷地を有効活用できるデッキIN仕様を追加。フレームは、木調間を印象づける木調色4色+アルミ色3色のバリエーション。デッキ材には人工木デッキ(ひとと木)・NEW人工木デッキ材。開口ユニットに、フルオープン・フルクローズの折りたたみ戸に腰パネル・袖パネル(サイディングパネル・アルミパネルを加えてバリエーションを強化。関連商品にガーデンルーム「ファニチャー」。

◆ガーデンテラス「スマーレ」:サイドオープンタイプ(正面FIX窓・正面腰壁+FIX窓・正面腰パネル+FIX窓の各タイプ)。◆アウトドアリビング「ソラノマ」:フレーム、サイドフレーム、椅子、ルーフ、パーゴラ、オーニング・ラクシェードなどのアイテム。◆人工木デッキ「ひとと木」:天然木の風合いを再現した木調5色。半径800mm以上のアールに対応。フェンス・ハイパーティション・スクリーン・門扉を用意。

◆ガーデンルーム「M.フレイジ」:デッキ仕様・土間仕様。開口ユニットに折りたたみ戸を採用。敷地に柔軟に対応するパーゴラタイプ・テラスタイプ



三協立山「ガーデンルーム「ハッピーナ」、室内外を一体化した快適空間創造

フルオープン+テラスタイプ・フルオープンタイプの品揃え。フレームはアルミ色4色、木調色3色。

□囲い商品——◆テラス囲い「晴れもようⅢ」(土間仕様・デッキ仕様・デッキON仕様。物干し場や物置に利用)／風除室「暖たす」(ハンガー引戸・引違い戸・プッシュプルドア)／外部収納庫「オイトック」(一般地域600タイプ・積雪地域1500タイプ)。

□バルコニー・躯体バルコニー/手すり——◆「グランドシェピア」(柱なしタイプ)／「スーパーエリーバ柱建てタイプ」等。◆手すり「コープレイ Jr」(笠木付き手すり)等/躯体バルコニー用床材「床化粧材」。□テラス——◆「メニーウェル」:柱付タイプ・柱なしタイプ。600・1500・3000タイプ・3階建設設置型。◆「グッドコート」／「ナチュレ」／独立式テラス「セパネ」／「テラネZ」等。

□アウトドアリビング——◆テラスオーニング「カフェリオ」(ロールタイプ・ウインドウタイプ。豊富なキャンバス地、電動タイプを用意)／「ラクシェード」(シンプルデザイン、簡単施工)。□関連商品——「濡縁」／「ハウスガード」／屋根点検用アルミ梯子「マイタラップ」／「ニュービッグバルコニー」／「スーパーテラスGT」／「アルミ階段」等。

【現況】エクステリア空間商品のバリエーションを強化し、様々なライフスタイルに応じた外部空間づくりを提案する。その主力商品は、ガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、人工木デッキ「ひとと木」、アウトドアリビング「ソラノマ」の各シリーズ。

今後、ガーデンルーム「ハッピーナ」は、フルオープン・フルクローズが可能な折りたたみ戸を採用したもので、高成長が期待されている。空間形成商品とともに採用されるデッキ材は、天然木デッキの販売を終了して、人工木デッキ「ひとと木」に集約したが、依然として成長を継続して拡大をつづけている。1㎡あたり5万円が売れ筋価格帯。

ウォールエクステリアの主力商品であるテラスは、一般地域用から積雪地域用、3階設置型まで品揃えする「メニーウェル」を主体に展開する。最近では高強度タイプの動きが目立っている。同時に、テラス囲い「晴れもようⅢ」も、物干し場や物置などに活用されている。

一方、ユニット式バルコニーは、「グランドシェピア」、「スーパーエリーバ」などを展開。タイプ別には、柱なし15%、柱建て43%、屋根置き42%の販売比率。リフォーム需要への対応を主体に展開する。さらに、最近の節電・省エネニーズに対応して、テラスオーニング「カフェリオ」や「ラクシェード」の販売拡大に取り組んでいる。建物の室内空間を快適にたもつ窓まわり商品として需要の掘りおこしが進められている。

四国化成工業

ガーデンルーム「F.リード憩」と木質樹脂「ファンデッキ」の組み合わせでガーデン空間分野を本格的に開拓

【リビングエクステリア】□新商品——◆ガーデンルーム「F.リード憩」:勾配を感じさせないフラットデザインの屋根、折りたたみ戸の開閉によりオープンクローズの空間を自在に演出できることが特長。①折りたたみ戸でオープンクローズの広い使い勝手のよい空間を創造できる「キューブタイプ」(折りたたみ戸は前面と側面にそれぞれ収納する機構)。②天候を問わず折りたたみ戸を開けたままガーデンライフを楽しめるように前面にひさしを設けた「ルーフタイプ」(折りたたみ戸はすべて家側に収納する機構)。③折りたたみ戸を使用せずオープンな空間を演出する「テラスタイプ」(ルーフタイプやキューブタイプとの連棟や、ポリカ・ガラス・可動ルーパー・採光ルーパー仕様などの前面パネル、棚セットとの組合せが可能)。ライフスタイルに応じた3タイプのバリエーションで、本格的にガーデンルーム需要の掘りおこしをすすめている。

□重点商品——◆「ファンデッキ」シリーズ:天然木に迫る素材感をもった木質樹脂を採用。カラーはライトブラウン、セピアブラウン、マロンブラウンの計3色。幕板に厚さ30mm・10mm仕様とアルミ幕板10mm仕様を揃える。束柱は設置条件により選択できる5種類。専用フェンスに木質樹脂タイプ

3デザイン・アルミタイプ1デザインを用意。シリーズは、戸建住宅向けの「ファンデッキHG」と、店舗や公共施設などに幅広く使用できる高強度タイプ「ファンデッキSG」(デッキ材にアルミ型材の補強材を入れて耐荷重 3500 N/m²)。ガーデンルームと組み合わせ、室内と連続する外部空間を演出する。

□バトリス—◆「ハイパーバトリス」:木質樹脂タイプ(3色)とアルミタイプ(ステンカラー)の2タイプ。バトリスの連棟やパネル、ハイパーテーションとの組合せで、ファサードやテラス、緑の壁、駐車スペースなどさまざまな空間を演出。◆「グランバトリス」:アルミ支柱と木質樹脂の梁部材を基本に、腰パネル・可動ルーバーパネル・ラチスパネルの前面スタイル。屋根にパーゴラタイプ・屋根付タイプ。柱と腰パネルに塗り壁(76色)タイプを品揃えしている点が大きな特長。

□テラス—◆「バリューテラス」:耐積雪20cm・50cm相当。建物への穴あけが不要な独立施工式も用意。アール屋根とフラット屋根の2デザイン。左右の柱を間口方向700mm・出幅方向500mmまで移動可能。バルコニーへの施工も可能。上止め仕様と下止め仕様/「バリューテラスE」:メーターモジュール規格のテラス/「パーゴテラス」:木組みデザインの斬新なフォルム。後柱仕様・前柱仕様。□関連商品—◆「勝手ヤード」:勝手口スペースを有効活用できるストックヤード。サイドパネルにアルミ6デザイン・木質樹脂8デザイン。◆オーニング「ファンシェード1型」等。

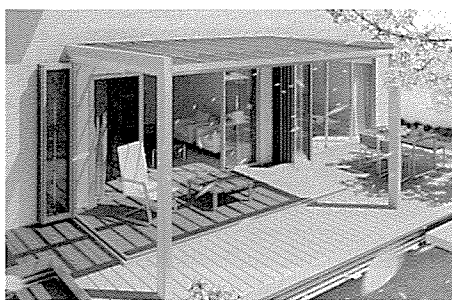
【現況】 ガーデンルーム「F. リード憩」を新発売し、本格的にガーデンルーム市場に展開する。ガーデン空間形成商品としては、「バトリス」シリーズで、緑化や採光・採風に最適なファサードづくりや、テラスと組み合わせた駐車スペース、オープンなガーデン空間づくりを提案している。

ガーデンルーム「F. リード憩」では、木質樹脂デッキ「ファンデッキ」と組み合わせ、折りたたみ戸のオープンクローズ機能を活かしたガーデン空間づくりを提案している。

新発売してまだ日が浅いが、空間を広く使える「キューブタイプ」を主力に浸透している。折りたたみ戸をオープンクローズすることで空間を演出できるもっともオーソドックスなスタイル。

ガーデンルームと組み合わせ、室内外一体の

四国化成「ガーデンルーム「F. リード憩」の「ルーフトップ」は雨天時にも折りたためる戸を開けたまま楽しめる



空間演出に欠かせない木質樹脂「ファンデッキ」シリーズは、1㎡あたり3万6800円の標準仕様が売れ筋商品。戸建住宅向けにとどまらず、店舗や公共施設にも採用可能な高強度タイプ「ファンデッキSG」を発売し、パブリック分野での強さを活かした展開も開始した。さらに、テラス分野では、耐積雪50cm相当に対応する「バリューテラス」を主力商品に浸透をすすめている。

文化シャッター

プラスチック再生複合材「テクモク」のデッキ、省エネ商品「まどかぜ」のオーニング・スクリーンタイプ拡販

【エクステリア商品群】□重点商品—◆木材・プラスチック再生複合材「テクモク」:廃木材55%と廃プラスチック45%を原材料とする100%リサイクル素材。JISA5741のJISマーク表示製品認証品・エコマーク認証品。天然木の風合いとプラスチックの耐久・耐候性、防蟻性などの特性をあわせもつ再生複合材。カラーはブラウン、サンディブラウンの2色。腐らない、水につよい、シロアリに食べられない、変色しにくい、メンテナンスが簡単、大規模補修が不要、トゲ・ささくれがない、ノンホルムアルデヒドの安全素材などの特性がセールスポイント。

ガーデンデッキ、デッキフェンス、バルコニーデッキ、バルコニー手すり、パーゴラ、外構フェンス、門扉・門袖、ガーデンファニチュアなどの商品アイテム。住宅分野に限らず、病院、教育、商業、福祉などの非居住分野に採用できる高強度タイプのデッキを品揃えする。

◆テンパルの省エネ商品・新ブランド「まどかぜ」シリーズ:オーニングタイプ「まどかぜ・テラス」(取付高さ119mmのコンパクト収納。リモコン・振動センサーを標準装備して強風時に自動で収納する)

スクリーンタイプ「まどかぜ・シェイド」(壁付けを標準仕様に、サッシ枠取付け、天井付け、持ち出し金具取付けなど設置場所を選ばない取り付けが可能)。

◆ホームオーニング「エルパティオ・プラス」(角度可変システム搭載。手動・電動・電手動・電動リモコンの各タイプ。オプションに風力センサー、風力・陽光センサー)。◆店舗・商業施設、一般ビル向けオーニング「ニュースパーマキシム」(ロールオーニング・エルバーネのスタンダードタイプ・ボックスタイプ)。◆「アルミバルコニー」「アルミテラス」。◆「手すり・笠木シリーズ」(RC造・鉄骨造(ALC)・木造)。

【現況】 環境建材「テクモク」シリーズの中でも、高強度・メンテナンスフリーの特性を活かし非居住分野向けのデッキ材、建物外装用のルーバーに採用されるケースがおおい。これにつづく環境建材として、太陽光発電やオーニングなどの省エネ商品の販売に力をそそぐ。

子会社テンパルの新ブランド「まどかぜ」シリーズは、オーニングタイプとスクリーンタイプ。デッキ材と組み合わせ、快適なガーデン空間の創出ができる。窓まわりのエクステリア商品として拡販をすすめている。「まどかぜ・テラス」(オーニングタイプ)の売れ筋価格は、間口2m×出幅1.5mの23万6000円。オーニング自体は、店舗などの非居住分野ではテンパルがリーディング企業としてリードするが、省エネ対応が求められている住宅分野への浸透に力をいれる。

一方、バルコニー分野では、造り付けタイプの増加に対応したベランダ手すりでも業界トップクラスの実績をあげている。最近では、戸建住宅のみならず、マンション用手すりの取り組みを強化している。

LIXIL

ガーデンラウンジ「ココマ」等のガーデンルームの需要を拡大、人工木デッキ「樹ら楽ステージ」に統合、バルコニー「ビューステージ」中心に展開

【自然浴エクステリア/ウォールエクステリア】□ウッドデッキ—◆新・人工木デッキ「樹ら楽(きらら)ステージ」:芯材部に樹脂・木粉100%リサイクル材を使用した環境配慮商品。LIXIL共通のクリエカラー(木目色)全5色。板厚46mm×

LIXIL「写真右・ガーデンラウンジ「ココマ」、写真左・新バルコニー「ビューステージ」スタイル」



175mmの頑強構造。表面木粉量を調整で雨シミを抑制。昇温浴製効果のある顔料使用で夏季の表面温度上昇を抑制。表面にネジが見えない横止め施工。ノンルーバーサッシ納め部材やタイルフロアー、スロープスターター、収納蓋、LEDポイントライトなど豊富なオプション部材。◆人工木デッキ「レストステージ」:床板幅195mm(目地込200mm)ピッチで施工性をアップ。クリアカラー2色。◆フロアタイル「INAX床タイル」:モダン、和モダンに対応した床タイルシリーズ。滑りにくいマイクロガードフロア。

□ガーデンルーム—◆ガーデンラウンジ「cocomma(ココマ)」:ガーデンルーム・サイドスルー・オープンテラスの3タイプと、3タイプ共通の腰壁タイプ。耐積雪20cm相当・50cm相当。2枚1組の側面折戸パネルを用意。◆エクシオール「NEW暖蘭物語」:ガーデンルームの最高級品。折戸パネルスタイルの基本タイプと腰壁タイプ、インナーデッキ仕様の多彩なスタイルを用意。◆自然浴家族「Zima(ジーマ)」:ガーデンルームのニュースタンダードモデル。フルオープン・フルクローズの機能をもつ新機構の折戸パネルを採用。◆エクシオール「フィリアII」:スペースを取らない間口1.5間×出幅4尺タイプを用意。少ない予算で設置可能な多目的ガーデンルーム。インナーデッキ仕様、土間・デッキ仕様、テラス仕様。

□「プラスG」:庭を間取るとの新発想。Gスクリーン、Gルーフ、Gフレーム、ガーデンストレージ、スライドルーバーなどアイテムを充実させた。

□バルコニー—◆新バルコニー「ビューステージSスタイル」:新築住宅向けの柱なしタイプ。クリアステージ・ブロードステージ・エックスステージを統合した新シリーズ。横格子やサイディングなどデザイン面材13種類。アルミデッキ材の「ジョーブ床」・階下への採光可能な「スリット床」を品揃え/「ビューステージHスタイル/Fスタイル」(リ

フォームに対応する柱付きタイプと庭置き式扉付きタイプ)。□手すり——◆「ベランダ手すりモダンパネル」:パネル一体タイプ・縦格子一体タイプ・ジオーナパネルYP型LP型・エコリル(ウッド)格子などを追加/「ベランダ手すりII」/「ハンドラインIII」/「バー手すりIII」/「ベランダ用通風小窓エアイン小窓」等。

□テラス——◆「パワーアルファ」(耐風圧強度42m/s・最大4階まで設置可能。一般地域向け耐積雪30cm、積雪地域向け50cm・100cmタイプ。テラスタイプ・屋根タイプ・ルーフタイプ)。◆「ライザーテラスII」(屋根タイプ・ルーフタイプ。耐積雪20・50・100cmタイプ)。◆「クリアルーフ」(後付け仕様の上吊りルーフ)/「モダンアート」(モダンひさし)。◆「エクスルーフ独立テラス」/「ナロー屋根・ナラテラス」/「パドームII」(日除け・雨除け用ルーフ)。◆「木樹脂パーゴラ」/ガーデンテラス「樹の木テラス」(アルミ型材2色と人工木調4色の組み合わせが可能)等。

□テラス囲い・サンルーム——◆「ほせるんですII」(1階用・2階用。一般地域用600タイプ・積雪地域用1500タイプ・多積雪地域用3000タイプ)/「ほせるんですIIハーフ囲いオープンタイプ」(洗濯物を天候に合わせて干すことが可能)/サンルーム「ルームトラス」(フロア納まり・土間納まり)/「フリーヤード」/「囲い上手」等。

□オーニング——◆「彩風」:薄型ボックスの省スペースタイプの「C型」・壁からの張り出しが少ないスリムなケースの「S型」・メッシュスクリーン内蔵の「CR型」・西日対策に最適な小型タイプの「ウィンドウタイプ」。◆「彩鳥L型」(対応角度がもっともおおきく大型タイプ)/「彩樹A型」(取付場所を選ばない独立タイプ)/「彩樹B型」(アームのない独立タイプ)等。

□エントランスルーム——◆「ダブルエントランス」(壁付タイプ。玄関前のミッドテリア空間提案)/「エントランスポーチ」(目隠し・雨よけ・ひさし・収納など多彩な機能)/「ツインガードII」(風除室)。

【現況】 ガーデンルーム・人工木デッキで構成される自然浴エクステリア商品群をはじめ、バルコニー・テラス、テラス囲い、オーニング、エントランスルームなど、快適なエクステリア空間づくりに欠かせない多彩な商品バリエーション。

その中でも、ガーデンルームは建物の内外をむすぶ空間創造型商品としてエクステリアの新たな市場を切り拓いた。フルオープン・フルクローズを基本に、ユーザーの様々なライフスタイルにこたえるガーデンラウンジ「ココマ」やエクシオール「暖蘭物語」、自然浴家族「ジーマ」などを主力商品に業界をリードしつづけている。同時に、ガーデンルームと組み合わせる快適空間を創造する人工木デッキは、「樹ら楽(きらら)ステージ」への切り替えが進められている。このほかにもエクステリア空間形成商品として、庭を間取るとの新発想から生まれた「プラスG」は、敷地を自在にレイアウトできるアイテムの充実をすすめ、本格的な浸透に乗りだしている。

一方、バルコニーは、新築対応の柱なし「ビューステージSスタイル」、リフォームに対応する柱付きタイプ「ビューステージHスタイル」と、庭置き式扉付きタイプ「ビューステージFスタイル」に商品を統合した。ユニットタイプと造り付けタイプは3対7の販売比率。ユニットタイプのうち、柱なし35%、柱付き35%、屋根置き30%と、リフォーム需要が依然として根強い。

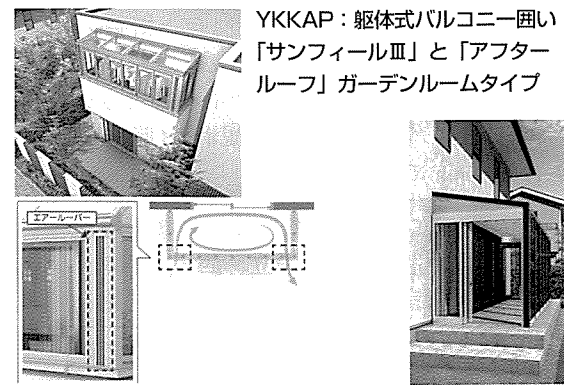
ウォールエクステリアの主力商品に成長したテラス・テラス囲いは好調をキープする。商品的には、一般地域用で積雪30cm相当、積雪50cm・100cm相当を品揃えする高強度タイプの「パワーアルファ」を中心に浸透をつよめている。

さらに、最近の節電・省エネニーズに対応する住宅用オーニングは、「彩風」シリーズを新発売した。これまで取り付けが難しかった部位にも採用できる新タイプで構成されている。人工木デッキとの組み合わせた空間形成商品としても、室内を快適な環境にたもつ窓まわり商品としても成長が期待される。

YKK AP

ガーデンルーム「アウトルーフ」、テラス囲い「サンフィールⅢ」折りたたみ戸などアウトドアリビング商品を拡大

【空間形成商品/ウォールエクステリア】□ガーデンルーム——◆「アウトルーフ」:テラスAタイプ/Bタイプ/ガーデンルームタイプ。耐風圧性能基準風速 $V_{0}=34\text{m/s}$ ・耐積雪20・50・100cm(600・1500・3000N/m²)対応。採光・通風・目隠し・緑化など7種の正面デザインパネルを



用意。正面デザインパネル6型は、強化ガラスは光触媒コート付きのイージーメンテナンス仕様。「ガーデンルームタイプ」の側面開口部利便性と操作性にすぐれたにハンガー2枚引込み戸を採用。狭い敷地に対応し、勝手口やテラスまわりにプライバシー確保と雨よけ機能を付加して新たな生活空間や屋外収納空間を創出する。

□空間形成商品——◆再生木デッキ「リウッドデッキ200」:デッキ間の目地幅3mm、関東間・メーターモジュールに適した200mmピッチ採用。スライド固定方式の簡単施工。部分的にデッキ材の取替えが可能なメンテナンス用デッキ材押さえ金具を用意。「バルコニー用リウッドデッキ200」を追加。◆エクステリア空間システム「リレーリア」:敷地にあったサイズ・目的の外部空間を実現するオーダー感覚のシステム商品。

□テラス囲い——◆「サンフィールⅢ」:新商品「躯体式バルコニー囲い」はエアルーバーを正面側に2個採用し、風を循環させて雨の日にも洗濯物を干したまま外出できることが特長。積雪20・50・100cm対応。

□テラス屋根——◆「ベクター」:テラス屋根・バルコニーBC-X型専用屋根の場合、基準風速 $V_{0}=30\sim 40\text{m/s}$ 対応・積雪20・50・100cm対応。躯体式バルコニー屋根・バルコニーアネーロ屋根、持ち出し屋根の場合、基準風速 $V_{0}=30\sim 40\text{m/s}$ 対応・積雪20・50cm対応。

□バルコニー——◆「アネーロ」(造り付けタイプ対応の持ち出し式バルコニー)。◆「BC-X」(柱建て、屋根置き式の普及タイプ)。◆「エアキューブ」(2階に庭空間を創造する大型バルコニー)。

□バルコニー用手すり——◆「ハンドレール」:

「TypeG」(木調格子)/「TypeM」(縦枠のない強化ガラスを面材に採用)/「TypeF」(フラットなフレームが基調)。◆「レグザハンドレール」(アルミ×リウッドのハイブリッドデザイン)。◆「シンプルモダンハンドレール」(スリムなモダンデザイン)。◆「トラディショナルハンドレール」(ロートアイアン調の南欧風デザイン)。◆「ハンドレールII」(笠木のみやトップレールタイプ等)。

□ウォール関連商品——◆オーニング「サンブレロ」:「Type01」(住宅用角度設定機能)・「02」(住宅用標準タイプ)・「03」(店舗用)・「04」(小窓用)。セルフクリーニング効果のある防汚テントと、織物の風合いのファブリック調テントを用意。◆風除室「セクターⅢ」/外部収納「ストックヤード」。

【現況】 再生木デッキ「リウッドデッキ200」、エクステリア空間システム「リレーリア」につづき、「アウトルーフ」のテラスAタイプ・Bタイプ・ガーデンルームタイプ、テラス囲い「サンフィールⅢ」の正面・側面折りたたみ戸タイプを新発売し、空間形成商品群の充実を図っている。今後、ガーデンルーム「アウトルーフ」のバリエーション展開と、再生木デッキ「リウッドデッキ200」を活用した応用商品が注目される。

再生木デッキ「リウッドデッキ200」は、1階テラス用に加えて、バルコニー用がおおきく伸長していることが好調さの要因。設計価格1㎡あたり3万6500円が売れ筋価格帯。

テラス囲いは、「サンフィールⅢ」を中心に展開しているが、洗濯物干し場で使われるほか、憩いの場、ガーデニング、物置などユティリティースペースとしての用途が拡大している。都市部の洗濯物干し場として躯体式バルコニー囲いが好評。

また、ウォールエクステリアの主力分野であるテラスは、「ベクター」を中心に展開するが、アウトドアリビング市場の拡大にともない、デッキ納まりが増加傾向にある。販売全体では、台風や大雪被害の増加で高強度タイプの販売ボリュームが徐々に拡大している。

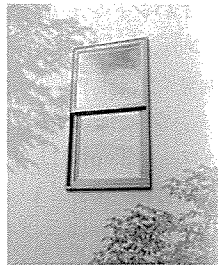
一方、バルコニーは、ユニットタイプと造り付けタイプの比率が1対9と、ユニットタイプが後退を余儀なくされている。ユニットタイプの販売傾向をみると、柱なし40%、柱建て30%、屋根置き30%と、リフォーム需要に主力が移りつつあるようだ。

【新商品・新技術情報】／業界の動き

YKK AP

全国展開に踏み出した高性能樹脂窓「APW330」、「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」を受賞

YKK AP(堀秀充社長)の高性能樹脂窓「APW330」が、「第10回エコプロダクツ大賞」エコプロダクツ部門の「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」を受賞した。



受賞理由を審査員は、断熱性に優れた樹脂フレームと高性能な真空トリプルガラスを組み込んだ高性能樹脂サッシである。断熱性能は一般的なアルミ窓の約4倍、アルミ複合窓の約2倍を実現し、熱貫流率は国内最高クラスで、3枚重ねのトリプルガラスでも高い日射取得率を確保するなど、断熱性能と日射取得のバランスが取れている。独自のフレーム・ガラス接着技術によりフレーム強度が高まりスリム化を実現したことで、原材料（樹脂とアルミの重量）を重量比で34%～25%削減している。一般的なアルミ複層ガラスの窓に比べ冷暖房設備の消費エネルギーを約25%、年間のCO2排出量も約25%削減するなど優れたエコプロダクツであるとコメントした。

「APW330」にウインドキャッチ連窓、スクエア・スリットサイズ等を追加

YKK APは、樹脂窓を通じた小エネ（ローエネ）提案強化の一環として、「APW330」に自然の風を活用する「ウインドキャッチ連窓規格」やスクエア・スリットサイズなどを追加、発売した。

今回追加された窓種は、「たてすべり出し窓ウインドキャッチ連窓」をはじめ、スクエアサイズのすべり出し窓・FIX窓、スリットサイズ（横・縦）のすべり出し窓・FIX窓。

ウインドキャッチ連窓は、外からの風を積極的にキャッチし室内に取り込める機構で、同サイズの引違い窓に比べて室内平均風速5倍、体感温度マイナス1.4℃相当の効果が得られる。また、スクエア・スリットサイズは、窓が設置しにくい部位での採光・通風を可能にする。また、防犯に配慮しながら風を採り入れたたり、プライバシーを確保することがで

きる。フレーム外観3色×内観4色。樹脂フレーム+Low-E複層ガラス/真空トリプルガラス。希望小売価格は、たてすべり出し窓・ウインドキャッチ連窓・Low-E複層ガラス仕様・内外観ホワイトのW16090×H1170mmで10万3530円。

関西エリアでの窓事業の中核工場「六甲窓工場」を設立、西日本地域の樹脂窓増加に対応7月操業開始



YKK APは、関西エリアでの窓事業の中核工場として「六甲窓工場」を設立、2014年7月の操業開始をめざしている。関西エリアでの樹脂窓の販売増加への対応と供給体制を強化すると共に、中国・四国・九州エリアにも供給する。同社の西日本エリア初の樹脂窓の供給拠点でもある。

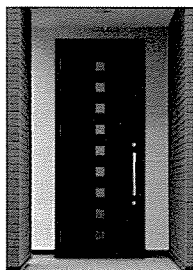
「六甲窓工場」の設立予定地（神戸市東灘区向洋町西4-2六甲アイランド内）は、これまで窓・ドア・エクステリア商品の展示場「YKK AP P-STAGE 六甲」があったところで物流効率に優れたエリア。展示場は昨年11月利便性の高い大阪市中央区に移転しており、今後、建屋の改修、窓生産ライン・複層ガラス生産ライン設置工事を進めていく。建築面積約6700㎡、延床面積約1万㎡、鉄骨造2階建て。投資額約14億円（建屋改修工事を含む）。

LIXIL

防火性能と高断熱性能を両立させた国交大臣認定防火設備のドア「防火戸FG-Eジェスタ」k2・k4仕様を発売

LIXIL（藤森義明社長）のトステムブランドは、防火性能と高断熱性能を両立させた国土交通大臣認定防火設備のドア「防火戸FG-Eジェスタ」を新発売した。

従来の大臣認定防火設備・ドア「防火戸FG-E」をモデルチェンジしたもので、ドア本体に補強芯材や過熱発



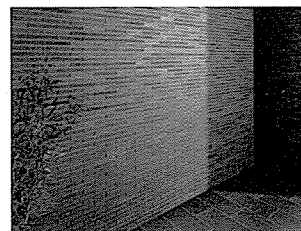
泡材を採用したほか、本体ガラス・子扉ガラスにも温度上昇と炎の貫通を抑える専用ガラスが採用された。

デザイン面では、断熱玄関ドア「ジェスタ」の人気デザイン14タイプと新たに4デザインを加えた全18デザイン。本体カラーは、人気の木目調を含む16色。最新鋭の電気錠一体型ハンドル「S型ハンドル」や、鋳物調ハンドルなど「ジェスタ」と同様のバリエーション。3種のエントリーシステム（電気錠）もラインアップした。

寒冷地対応のk2仕様と関東以南向けのk4仕様の2タイプ。K3仕様は価格帯を据え置いたままk2仕様にランクアップ。枠バリエーションは、片開き・親子・親子入隅の3タイプ。価格（税込）はk2仕様47万2500円～70万3500円/k4仕様44万1000円～67万2000円。

有機系接着剤張り「はるかべ工法」の非住宅向け外装壁タイル4シリーズ、モルタル張り用4シリーズを新発売

LIXILのINAXブランドは、有機系接着剤張り「はるかべ工法」の非住宅向け外装壁タイル新4シリーズを2月3日から全国発売する。



有機系接着剤張り「はるかべ工法」は、2012年7月に日本建築学会の「建築工事標準仕様書～JASS19～陶磁器質タイル工事」、2013年6月国土交通省の「公共建築工事標準仕様書」に盛り込まれており、今後の需要の伸びが期待されている。

上品なやきものの風合いの「雅紋」（全4色、12mm厚）、土の質感と目地を意匠に取り込んだ「グラレーア」（ボーダー4色・ボーダーネット4色の計全8色、12mm厚）、ラフな面状と釉薬の表情が調和した「グレイズラフ」（全4色、11mm厚）、テッセラ面の豊かな陰影感と煌めきある表情の「シャインクリスタ」（全5色、18mm厚）の4シリーズ。

同時に、マンションにおおく採用されているモルタル張り用外装壁モザイクタイルに、「ブリラーレ」「バンキーナ」「エイガススキップ」「アルジネ」の4シリーズを追加した。

これらの外装壁タイルは、ホコリや排気ガス等

の汚れを雨水によって落ちやすくする「ナノ親水」と「マイクロガード」対応など、親水性を活用した2つの防汚テクノロジーが特長。

ニチハ

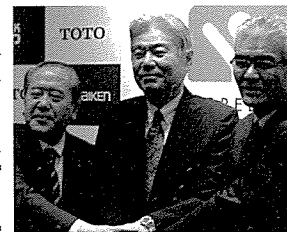
「オフセットサイディング」、グッドデザイン賞につづき「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」受賞

ニチハ（山中龍夫社長）の「オフセットサイディング」が、「第10回エコプロダクツ大賞」のエコプロダクツ部門「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」を受賞した。「オフセットサイディング」は、グッドデザイン賞につづき受賞で、長年にわたる環境保護への取り組みが認められたものと受けとめているとコメントする。

TOTO・DAIKEN・YKK AP

全国4箇所目の「TDY福岡コラボレーションショールーム」6月開設

TOTO・DAIKEN・YKK APの3社は昨年12月5日、「TDY東京コラボレーションショールーム開設1周年」記者説明会を開いた。TOTOの古部清取締役専務執行役員、大建工業の億田正則代表取締役専務執行役員、YKK APの神波秀一執行役員営業本部長の3氏が説明した。



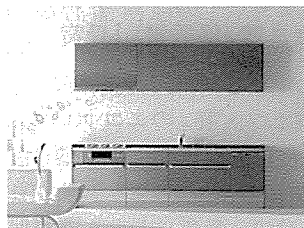
2012年11月～2013年10月の各社来館の合計は13万2000組。このうちリモデル65%、新築35%の比率。また、「グリーンリモデルフェア2013」は、4会場とも目標を達成し、総動員数7万6700人、目標比128%の実績。「グリーンモデル診断」の活用店数は、2013年10月末で累計3053店と目標を達成、2010年スタートの総累計約3万件を超えるが見込む。さらに、購買のコラボレーションについては、2012年度から3年間で50億円（3社計）のコストリダクション計画に上方修正した。

また、現在の「TY福岡コラボレーションショールーム」にDAIKENショールームを加えて、「TDY福岡コラボレーションショールーム」とし2014年6月にリニューアルオープンすると発表した。TDY 3社のコラボレーションショールームとしては東京、大阪、広

島につづく4箇所目となる。

クリナップ

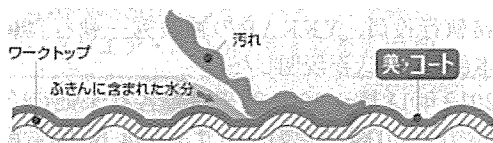
キズや汚れをダブルガードする“美コートワークトップ”標準装備の最高級システムキッチン新「S.S.」発売



クリナップ(井上強一社長)は昨年12月9日、東京・港区のベルサール六本木で、最高級システムキッチン「S.S.」の新商品発表会を開き、キズや汚れにつよい“美コートワークトップ”を標準装備した新「S.S.」をお披露目した。

キズや汚れをダブルガードする“美コートワークトップ”は、「美コート」と「特殊エンボス加工」の2つの技術で構成する。「美コート」は、水に馴染みやすい親水性セラミック系特殊コーティングしたもので、油の汚れを水拭きだけで落せると同時に、ステンレスたわしで擦ってもこまかい傷が付きにくいほど耐傷性をアップしている。さらに「特殊エンボス加工」は、食器や調理器具等とワークトップが接する面を少なくして、擦れ傷が付きにくく目立ちにくくしたことが特長。美コートワークトップの耐用年数は30年との試験データ。

美コートワークトップは、オールステンレスキャビネット構造、オールスライド収納、美・サイレントシンクにつづく新技術。カラーも、扉カラー3色のルミナスシリーズに合わせて、カラーステンレスフェイスのガスコンロ(ブロンズ・チャコール・シルバーの3色)も品揃えした。価格(税抜)は、I型基本プランで99万4500円～、対応間口限定のI型ライトパッケージが71万6500円～。



また、65周年を迎えるクリナップは、いくつかの中核技術を欧米から学び、日本流システムキッチンを生み出してきた。井上社長は、これを機に4月8

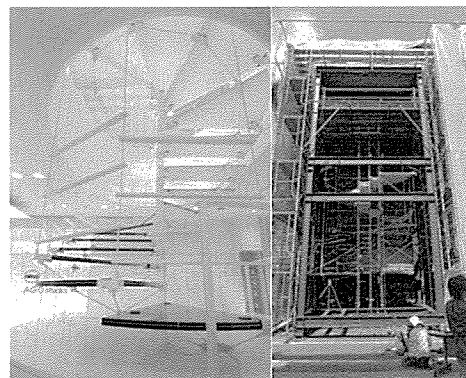
* *

また、65周年を迎えるクリナップは、いくつかの中核技術を欧米から学び、日本流システムキッチンを生み出してきた。井上社長は、これを機に4月8

日～13日までイタリアで開催される「ミラノサローネ2014」に、「台所」のコンセプトの下にデザイン力と最新技術を駆使したキッチンを初めて出展すると発表した。出展場所は、ミラノ市フォーリサローネブレラ地区のURUSHJ(ウルシ有会社)。

旭硝子

ガラス段板が宙に浮いているような螺旋階段「STEPS IN THE AIR」



旭硝子(石村和彦社長)は、東京・中央区の「AGC studio」(東京都中央区京橋2-5-18京橋創生館)内に、世界初のサスペンション構造によるガラス螺旋階段「STEPS IN THE AIR」を完成し公開した。

新開発されたガラス螺旋階段は、段板ガラス(厚さ15+19mm強化合わせガラス)を支持する階段中央部に設置された3本のロッド材(長さ約7m・直径20.2mmの建築構造用鋼材SNR490B)と側面ロッド、手すり(薄く・強く・割れにくい化学強化特殊ガラス「レオフレックス」)などで構成する。

段板ガラスの各段は、上下のスラブ間に張ったケーブルで2点ずつ吊られている。そさらに安定させるために段の中央を背骨のようにめぐるケーブルが設けられている。この背骨状のケーブルに張力を与え、段板を安定させて、同時に階段全体を絞り上げることで水平剛性を上げるサスペンション構造設計。また、ロッド中間部は、段板ガラスの荷重を負担しや跳ね上げを防止する「中間ねじ転造加工」が採用されている。

一般的なガラス階段のように側面にガラス板もなく、螺旋状に配置された段板ガラスが、宙に浮いているような透明感のある意匠を実現している。

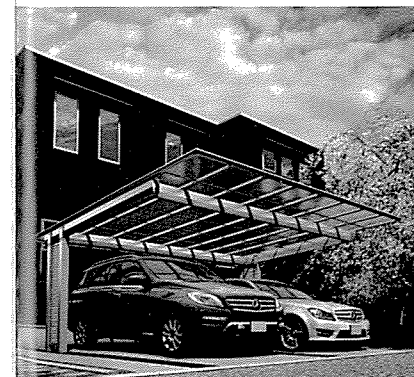


スムーズin、スムーズout。

New version

前柱のないカーポートの進化形、誕生。

エフルージュ
FROUGE EX



YKK APエクステリア株式会社

一般のお客様 ☎0120-20-4134 建築・設計関係者様 ☎0120-72-4134

携帯・PHSからは ☎0570-07-4134

●受付時間/月曜～土曜 9:00～17:30(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

www.ykkap.co.jp/

YKK AP
EXTERIOR.